



認知症を正しく理解するために…

認知症サポーター養成講座を 小中学校で開催しませんか？

認知症サポーター養成講座 では

「認知症の基礎知識」や「認知症の人や家族の気持ち」、「接する際の心構え」などを学ぶことができます。講師は研修を受けた「キャラバンメイト」が行います。

～認知症サポーターに期待されること～

1. 認知症に対して正しく理解し、偏見をもたない。
 2. 認知症の人や家族に対して温かい目で見守る。
 3. 近隣の認知症の人や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから実践する。
- ※認知症サポーターは、特別に何かしなければならないということはありません

講座終了後は、認知症サポーターの証となる

「オレンジリング」と「埼玉県認知症サポーター証」をお渡しします。



オレンジリング

★教育機関で講座を行うメリット

- 人格形成の重要な時期である小学生・中学生が認知症の症状や接しかたなどの基本的知識を学んでいただくことで 1「認知症の正しい理解」 2「多様性の理解」 3「世代間交流」 に繋がる。
- 講座の資料作成・当日機材の準備などは講師及び市が行うため、先生の負担感が少ない。
- 講座実施後はアンケート実施。生徒の反応を確認できる。

★認知症サポーター養成講座の開催までの流れ

実施すること	時期
①担当の先生より、長寿いきがい課へご連絡 開催日程調整	2, 3か月前
②講師・市(地域包括支援センター)職員・先生にて事前打ち合わせ	1か月前
③講師が当日資料を作成 先生にご確認いただく	1か月前から2週間前
④講座開催	講座当日

※ご不明な点は、長寿いきがい課 地域包括係 (048-930-7793) 担当：岡本にご連絡ください

過去事例紹介

★早稲田中学校の事例 (50分)

実施項目	時間
1. 挨拶、認知症サポーターとは	(5分)
2. 認知症の基礎知識(講義)	(20分)
3. 認知症予防体操(コグニサイズ)	(5分)
4. 認知症のかたへの接し方(寸劇)	(15分)
5. 質疑・まとめ	(5分)

★瑞木小学校での事例 (1時間30分)

実施項目	時間
1. 挨拶、講師自己紹介、認知症サポーターとは	(5分)
2. 高齢者・認知症の基礎知識(講義)	(20分)
3. 自身で考え・発表(自身が認知症になったらどうしてほしいか)	(10分)
4. DVD鑑賞(認知症のかたへの望ましい対応を考える)	(10分)
5. 休憩	(10分)
6. 寸劇 ※シチュエーション: 食事・ごみ捨て・迷子等	(25分)
7. まとめ	(5分)
6. クイズ(認知症サポーターとして、どのように対応すべきか)	(10分)

※講座の時間は1時間30分が基本ですが、最短45分から開催可能です。

※DVD視聴・寸劇実施時には、望ましくない対応を見せた後、正解として望ましい対応をお見せします。

※実施項目はご要望に応じて変更できますが、認知症の基礎知識の部分は別紙の副読本を元に作成したスライドを提示して進めます。実施項目についてはカスタマイズ可能です。

講座開催のご応募お待ちしております！！